広告

特集!! ぼうさい しゅうかん 2023

川西町高山　令和4年8月大雨

気象災害
- ■1961年 9月16日 第2室戸台風
- ■1967年 8月28-29日 羽越豪雨
- ■1967年 12月-1968年 2月 大雪
- ■1969年 8月7-8日 大雨
- ■1976年 10月29-30日 酒田大火
- ■1978年 6月25-27日 大雨
- ■1980年 12月-1981年 2月 昭和56年豪雪
- ■1981年 8月22-23日 台風第15号
- ■1983年 12月-1984年 4月 昭和59年豪雪
- ■1987年 8月28-29日 大雨
- ■1988年 6月18日 降雹（ひょう被害）
- ■2004年 8月19-20日 台風第15号
- ■2005年 12月25日 突風
- ■2008年 8月14-15日 大雨
- ■2019年 10月11-13日 令和元年東日本台風
- ■2020年 7月26-29日 令和2年7月豪雨
- ■2022年 8月3-5日 令和4年8月大雨

地震災害
- ■850年と記録 出羽 /マグニチュード7.0
- ■1804年 7月10日 象潟地震 /マグニチュード7.0
- ■1833年 12月7日 羽前・羽後・越後・佐渡 /マグニチュード7.5
- ■1894年 10月22日 庄内地震 /マグニチュード7.0
- ■1964年 6月16日 新潟地震 /マグニチュード7.5
- ■1983年 5月26日 昭和58年日本海中部地震 /マグニチュード7.7
- ■2011年 3月11日 平成23年東北地方太平洋沖地震 /マグニチュード9.0
- ■2019年 6月18日 山形県沖/マグニチュード6.7

出典：山形地方気象台ホームページ
www.jma-net.go.jp/yamagata/index.html

近年は気候変動の影響により、毎年全国各地で豪雨などの自然災害が頻発し、また地震大国である日本では、いつ、どこでも地震が発生する可能性があります。もちろん、私たちが住む山形県も、これまでさまざまな自然災害に見舞われた歴史があり、その都度人々の命と暮らしを守るための防災・減災が求められてきました。そのため国土交通省では、日頃から災害に負けない強い国土づくりを実現するために、ダムや河川、道路などへの防災・減災対策を進めています。こちらでは山形で起きた過去の災害と、国土交通省の県内での取組みを一緒に学んでみましょう。

県内、古今の災害

防災週間
いのちとくらしを まもる防災減災

期間：8月30日～9月5日

この紙面をダウンロードできます！

みんなのくらしをまもる 県内の国土交通省の取組

土砂災害や水災害などの大きな災害が起きないように、毎日のくらしをまもっています。

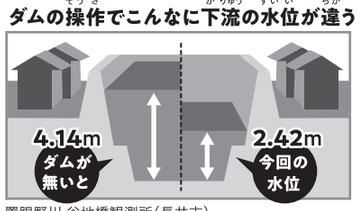
洪水調節　農業・水道用水の確保　工業用水の確保　河川環境の保全　発電

ダムの防災

国土交通省管理ダム
●白川ダム ●寒河江ダム ●長井ダム ●月山ダム ●横川ダム

最上川水系 長井ダム

ダムの操作でこんなに下流の水位が違う



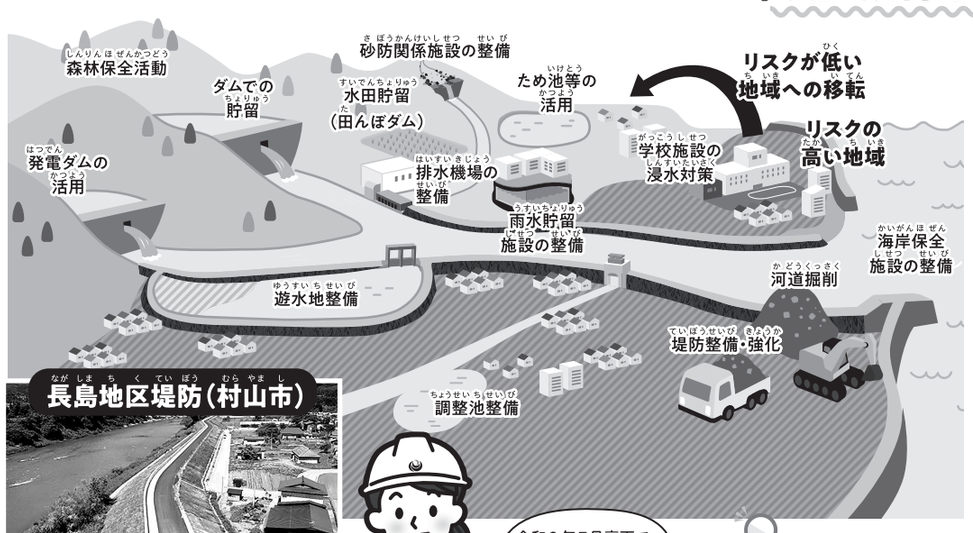
置賜野川 谷地橋観測所（長井市）

地域を守り 暮らしを支えるダム

令和4年8月の大雨で、長井ダムの上流で8月3日6時から8月4日8時までに流域平均累加雨量が405ミリメートルを観測しました。また、8月3日20時20分に最大流入量が毎秒757立方メートルを記録し、管理開始（平成23年）以降、第1位を記録しました。

長井ダムが約784万立方メートル（※東京ドームで約6.3杯分）の水を貯め込んだことで、ダム下流の置賜野川の長井市谷地橋地点で1.72メートルの水位を低減させる効果があったと推測されます。

気候変動による水災害リスクの増大に備える「流域治水」



令和5年6月完成

令和2年7月豪雨で浸水した地区の堤防整備が完了しました。

キーワード
【護岸】堤防などで洪水・高潮などの水災害から守ること。またはその施設。
【流域治水】堤防・ダムなどの施設のみに頼るだけでなく、河川流域の住民・自治体・国などが役割分担しながら水災害対策に協力する考え方。

河川の防災

洪水被害を軽減し 流域のみんなで水災害に備える

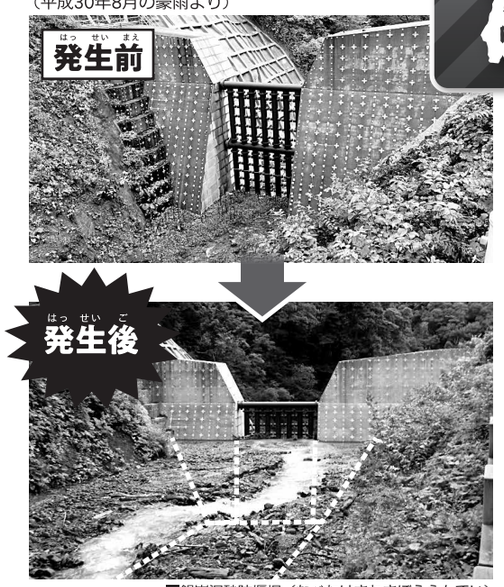
近年、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、水災害が激甚化・頻発化しています。このような中、地域の安全と安心を守るために、"流域治水"という取組みがスタートしたところです。この"流域治水"は、河川の**護岸**や堤防整備による行政の取組みとあわせて、地域の企業や住民の皆様の協力を得ながら、一緒に水災害に備えていこうというものです。

砂防の防災

土砂災害から 命と財産を守る

土砂災害とは、山やがけがくずれたり、くずれた土砂が雨水や川の水と混ざり流出することで人命が奪われたり、建物が押しつぶされたりする災害のことです。大雨、地震、火山の噴火などがきっかけで発生します。「**砂防**」とは、このような災害から人や町を守ることです。

砂防施設の整備効果
（平成30年8月の豪雨より）



■鍋嶽沢砂防堰堤（なべたけさわさぼうえんてい）

キーワード
【砂防＝世界の「SABO」】日本は長年に渡り培った砂防技術を、世界各国に提供している。その大きな功績と、外国語には砂防を表わす適当な言葉がないことから、海外でも砂防は「SABO」と呼ばれている。

道路の防災

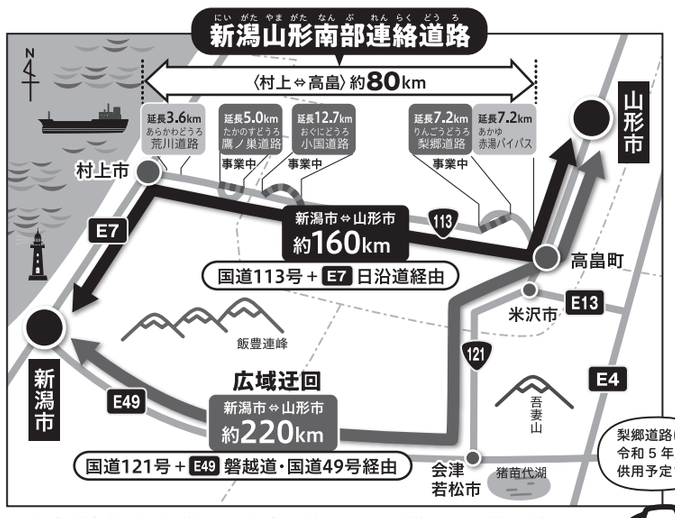
災害時も街を繋ぐ 暮らしに欠かせない「強い道路」

災害や事故で通行止めになることが多かった道路は、防災対策、バイパス工事により「強い道路」になって、災害時の**広域迂回**を解消し、物資の安定した供給や地域の救急医療活動を支援します。同時に、強い道路による物流の効率化は、地域産業の支援と観光支援に繋がります。道路は私たちの暮らしに欠かせないライフラインです。

令和4年8月の道路崩落（国道113号飯豊町）

冬期の交通渋滞（国道113号長井市）

新潟山形南部連絡道路



新潟山形南部連絡道路は、新潟県村上市から山形県高畠町を結ぶ、延長約80kmの高規格道路です。新潟県と山形県の高速道路ネットワークを形成して新潟市周辺地域と米沢市周辺地域を相互につなぎ、「災害に強い道路ネットワークの形成」、「地域間の**アクセス向上**」により「**高次医療機関**への救急搬送支援」、「産業の活性化」などの効果が期待されます。

梨郷道路は令和５年度供用予定です

キーワード
【広域迂回】通行止めが発生すると、道が遠回りになること。
【高次医療施設へのアクセス向上】救急救命センターを備えた病院への搬送時間の短縮により、重傷、重体患者の生存率の向上が期待できる。

令和4年8月3日の大雨「ダムの防災」

白川ダム・寒河江ダム・長井ダムの記録

最大流入量・8月降水量
歴代第1位を観測
（長井ダム）

（令和4年9月1日 最上川ダム統合管理事務所発表）

詳しくはこちら

防災教育（出前講座）

出前講座では、学校周辺の写真、災害の動画、ハザードマップ、体験学習などを通じて、身近で起こりうる災害と早めの避難の重要性について学習してもらいます。

（講座内容は、お近くの国土交通省の事務所にお問い合わせください。）

防災学習（最上川の洪水、安全な避難のしかた など）

体験学習（水深40cmを想定した「浸水体験長ぐつ」）

災害時自分の行動を決めておこう！ マイ・タイムライン講習会

自分や家族の大切な命を守るため、すばやく、安全な避難が出来るよう、自分がいつまでに、何をしなければならないかマイ・タイムラインを事前に作成しておきましょう。講習会では作り方を学習してもらいます。

（講習会を希望の方、お近くの国土交通省の事務所にお問い合わせください。）

「逃げキッド」
マイ・タイムラインを作るために必要な資料が入っています。使い方の動画も配信しています。

国土交通省

道路の異状を発見したら
道路緊急ダイヤルへ
お知らせ下さい
#9910
24時間受付（無料）

探してみよう！ まるごとまちごとハザードマップ

町なかの電柱などに「洪水ハザードマップ」情報として、「浸水の深さ」や「避難ルート」の案内看板を設置。みんなの防災意識を高めています。

水害対策を地域の皆で
流域治水を詳しく知る

水害から身を守るために
雨・川の水位を知る

ライブカメラが見られる
国土交通省 山形県内
道路情報サイト

■**東北地方整備局**：山形河川国道事務所・酒田河川国道事務所・新庄河川事務所・最上川ダム統合管理事務所・月山ダム管理所・酒田港湾事務所　■**北陸地方整備局**：羽越河川国道事務所・飯豊山系砂防事務所